



- ・ニューオープン続々
話題のスポットに迫る。
- ・伝統産業の作り手に会おう、
3つの方法。



能作でのぐいのみづくり体験の様子

高岡の産業観光最前線！ ものづくりのまち、 最新スポット案内。

高岡のものづくりと加賀前田家



富山県高岡市は人口約175,000人の県西部の中核都市。加賀前田家二代当主・前田利長公が開町し、7人の腕利きの鋳物師やさまざまな職人を招き、

ものづくりを奨励しました。今では高岡銅器・高岡漆器・越中福岡の菅笠が国の伝統的工芸品となっており、伝統の技を活かしたものづくりが今も盛んに行われています。



歴史的・文化的に価値ある産業文化財や工場見学・体験などを通じて、ものづくりの心にふれる「産業観光」が近年注目されています。富山県高岡市は、400年以上続く金工・漆芸ほか、金工から発展したアルミ鋳造技術や、ガラス加工技術など、多彩なものづくりの「ワザ」や「ヒト」の宝庫です。近年続々と体験スペースやショールームもオープンしており、事前に申し込みをすれば、実際の制作現場を見学できる工場・工房も多数。国内外に誇る伝統の手わざや最新技術、デザイン性・機能性の高い製品や世界的なアワードを受賞した製品など、高岡のものづくりの世界に触れられるスポットを紹介します。



ニューオープン続々! 話題のスポットに迫る。

2017~2018年オープンの見学・体験スポットとは?



高岡鑄物の伝統技術を気軽に

入るとすぐに、ずらりと並ぶ現役の木型に圧倒され、開放的な空間に心踊るこの建物は、1916年創業の鑄物メーカー・能作が2017年4月にオープンさせた新社屋。約4,100坪の敷地におしゃれなカフェやショップ、体験工房などを併設しています。見学可能な製造工場は、案内人の解説を聞きながら職人たちの作業工程を間近に見ることができます。能作社員おすすめの県内の観光スポットを教えられる観光案内コーナーも必見です。

株式会社能作 住所: 富山県高岡市オフィスパーク8-1
Tel: 0766-63-0001 (見学・体験等問合せ窓口)



カフェ「MONO KITCHEN」では、能作の器で地元食材を使った料理が楽しめます。



高岡ラムネ
高岡の老舗「大野屋」の「高岡ラムネ」とコラボし能作の鑄製品がラムネに



KAGO
錫100%。柔らかい錫の特性を生かし、自在に曲げたり伸ばしたりして使います。

“色の魔術師” がショールームをオープン!



銅器着色の伝統技術から新たな発色技法を確立するモメンタムファクトリー・Oriiのショールームが、土蔵をリノベした商業施設「山町ヴァレー」に2018年4月オープン。不定期に着色体験も予定。

モメンタムファクトリー・Orii ショールーム
住所: 富山県高岡市小馬出町6 山町ヴァレー ハノ蔵
Tel: 070-2644-1490 (山町ヴァレー)
0766-23-9685 (モメンタムファクトリー・Orii)

世界初! の町工場ミュージアム



アルミ削出加工、金型設計・製作、CNC三次元測定などを行う株式会社フジタ。工場の空きスペースを活用し、2017年4月にミュージアムが誕生しました。全国の町工場などの技術者から寄せられたメタルアート作品が並びます。

Factory Art Museum TOYAMA
住所: 富山県高岡市福岡町荒屋敷525-9
Tel: 0766-64-0501



伝統産業の作り手に出会う、3つの方法。



通年で訪れて伝統産業の担い手に触れられるスポットがまちなかに点在。
 そのごく一部を紹介します!(いずれも事前の予約・申込み等が必要です)

1.体験スポット



高岡地域地場産業センター

水盤やぐいのみを制作する鋳物体験や、蒔絵・螺鈿などの漆芸体験ができます。工芸品の展示・販売も。

住所：富山県高岡市開発本町1-1
 Tel：0766-25-8283



道具

現場の職人の手ほどきを受け、オリジナルの真鍮の鋳物づくりが体験できます。工場見学も可能です。

住所：富山県高岡市長慶寺1000
 Tel：0766-23-8540



はんぶんこ

土蔵造りの建物を利用したセレクトショップで、ショップオリジナルの鋳造体験・螺鈿体験が可能。

住所：富山県高岡市小馬出町63
 Tel：0766-50-9070



鋳物工房 利三郎

金屋町に明治期から続く鋳物職人の工房で、工房見学と鋳を使った鋳物体験ができます。

住所：富山県高岡市金屋町8-11
 Tel：0766-24-0852

2.見学スポット



FUTAGAMI
 (ショールーム)

真鍮鋳物メーカーのショールーム(1週間以上前に要メール予約)。年数回の開放日には工場見学も可能です。

住所：富山県高岡市長慶寺1000
 Tel：0766-23-8531



四津川製作所
 (ショールーム)

海外出展やデザインアワード受賞も多い鋳物メーカー。ショールームは歴史ある町家と石畳通りの裏通りにあります。

住所：富山県高岡市金屋町6-5
 Tel：0766-30-8108



武蔵川工房
 (工房見学)

高岡漆器の伝統技法の1つ「青貝塗」(螺鈿)の工房。見学のほか、螺鈿による加飾体験もできます。

住所：富山県高岡市地子木町 1-23
 Tel：0766-26-0792



シマタニ昇龍工房
 (工房見学)

「おりん」を手打ちで作成し、さらに叩きながら耳で調音していく工程を見学。「すずがみ」製作体験も可能です。

住所：富山県高岡市千石町4-2
 Tel：0766-22-4727

3.職人を訪ねる旅(随時募集)



仕事旅行「●●●になる旅」に参加!

さまざまな仕事を知るきっかけを提供する「仕事旅行」には、金工作家、原型師、金属着色職人など、高岡の職人たちの仕事に半日密着できる、複数のツアーが用意されています。

高岡特集ページ：
<https://www.shigoto-ryokou.com/feature/takaoka>



ツアーの例

- 仏壇塗師になる旅 -

仏壇製造・修復を軸に、漆器の製作や文化財修復作業に携わる京田充弘さんの仕事を学び、小皿の漆塗りに挑戦します。

全国の美大生を対象とした、独自のインターン企画も!



伝産の学校【2月16日(金)~17日(土)】

高岡のさまざまな伝統産業の現場で見学や職業体験を実施する、美大生向けインターン企画。夜は、希望により職人宅に民泊して職人と語り合う、あるいは合同宿泊施設で参加者どうし語り合います。すでに参加者の募集は終了していますが、取材をご希望の場合はお問合せください。

お問合せ 高岡伝統産業青年会 かわり展委員会(小島)
 Tel: 080-5086-5475 E-mail: passive.staff@gmail.com
 「伝産の学校」詳細 www.takaoka-densan.com/densannogakko2017/

「高岡伝統産業青年会」が主催しています!



News !

越中福岡の菅笠(すげがさ)、国の伝統的工芸品に! 全国シェア9割超。日本で唯一、原料栽培から問屋まで一貫して生産

高岡市福岡地域を中心に生産されている「越中福岡の菅笠」が、2017年11月30日、国の伝統的工芸品に指定されました。菅笠は、「スゲ」という植物を使って縫った笠で、農作業用の日よけや雨具として全国で古くから使われ、日本人の日常に溶け込んできました。この地域で良質のスゲがあったことから菅笠作りが始まり、以降400年以上にわたりこの手仕事の技術が受け継がれてきました。スゲの栽培から、笠骨作り、笠縫い、仕上げ、出荷までの全工程をこの地域で行っています。今回の指定を機に、新商品開発や販路拡大など、産業としてますます盛り上がる事が期待されています。



国の重要無形民俗文化財指定(2009年)。2016年には「越中福岡の菅笠製作技術」として日本遺産にも認定

笠縫いは昔女性の仕事とされていて、この地域では上手に縫えるのが良いお嫁さんの条件だったんだって

お問合せ 越中福岡の菅笠振興会 (高岡) 090-2834-1125 tkt666@p1.tcnet.ne.jp



半世紀前から作られるようになったヘルメット型の菅笠。日よけや土産、レジャー用に。

時代劇で渡世人などがかぶるイメージのある三度笠。浜松の大念仏踊りでも使われています。



工芸都市高岡2017クラフトコンペティション奨励賞!



高岡市の歴史あるクラフトコンペで昨年受賞した作品「六方」。通常は円形の笠骨が六角形になっており、伝統的な形を保ちながらも斬新でモダンな印象。

○2月、池袋で開催の

「伝統的工芸品展WAZA2018」に出展します!

- ・期間 : 2018年2月16日(金)~2月21日(水)
- ・会場 : 東武百貨店池袋店 8F催事場
- ・時間 : 10:00~20:00 (最終日は17:00閉場)
- ・入場料: 無料
- ・主催 : 一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

◎ 貴媒体でのご紹介・ご取材をご検討いただきますよう、お願いいたします。

富山県 高岡市

取材のお問合せ (プロモーション担当) : 有限会社エピファニーワークス

tel. 0766-54-6210 info@epiphanyworks.net